

Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs
〔国内助成〕2020年募集 応募要項

助成テーマ

「貧困の解消」に向けて取り組む NPO の組織基盤強化

応募受付期間

2020年7月16日（木）～7月31日（金）【必着】

趣 旨

「A Better Life, A Better World」の実現に向けて

パナソニックは創業以来、常に「人」を中心に、その「暮らし」を見つめ、「A Better Life, A Better World」の実現に向けて、事業活動とともに企業市民活動を通じて社会課題の解決や、より良い暮らしの創造と世界中の人々の幸せ、社会の発展に貢献すべく取り組んでまいりました。

一方、国際社会共通の持続可能な開発目標である「SDGs（Sustainable Development Goals）」には、目標1に「貧困の解消」が掲げられており、新興国・途上国における絶対的貧困はもちろんのこと、先進国においても相対的貧困の深刻化による格差など、その解決に向けた取り組みが急務となっています。

松下幸之助創業者も、企業の社会的使命として「生産者の使命は、この社会から『貧困』をなくしていくこと」と語っています。

そこで本ファンドでは、社会において重要な役割を果たす NPO/NGO が持続発展的に社会変革に取り組めるよう、SDGs の大きな目標である「貧困の解消」に向けて取り組む NPO/NGO を対象に、「海外助成」「国内助成」の2つのプログラムで、組織課題を明らかにする組織診断や、具体的な組織課題の解決、組織運営を改善するための組織基盤強化の取り組みに助成します。

本ファンドでの組織基盤強化の取り組みを通じて、市民活動の持続発展、社会課題の解決促進、社会変革に貢献し、誰もが歓びを分かち合い、生き活きとくらす共生社会を目指してまいります。組織の自立的な成長と自己変革に挑戦する NPO/NGO の皆様からの応募をお待ちしています。

なお、本年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々の健康へのリスクが増大する一方で、経済活動への制限等に伴う貧困のより一層の拡大など社会的なリスクが増大しています。

ご応募いただく NPO/NGO の皆様の事業にも様々な影響が予想されますが、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、これまで通り助成事業の計画内容の変更や助成期間の延長など柔軟に対応しながら、NPO/NGO の組織基盤強化を応援してまいります。

2020年4月

パナソニック株式会社

特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

助成について（国内助成）

1. 助成の対象となる団体

国内の貧困の解消、または、貧困と関連のある問題の解消に向けて、持続的・発展的に社会の変革をめざす NPO で、以下の要件を満たす団体を対象とします。

- ① 国内に主たる活動と事務所を有する民間非営利組織であること
- ② 団体設立から 3 年以上が経過し、有給常勤スタッフが 1 名以上であること
- ③ 政治・宗教活動を目的とせず反社会的な勢力とは一切関わりがないこと

※貧困と関連のある問題とは、貧困が直接の原因とはならないものの、社会的に不利・困難さのために貧困に陥りやすい人たちが抱えている問題を言います。

※法人格の有無や種類は問いません。一般社団法人または一般財団法人の場合は「非営利型」のみ対象とします。

※財政規模 1,000 万円以上、自主事業率 20%以上の団体を想定しますが要件ではありません。外部の資金提供者などの意向に極端に左右されることがなく、市民の主体的な意志に基づいて活動が行われている団体を重視します。

2. 助成の対象となる事業

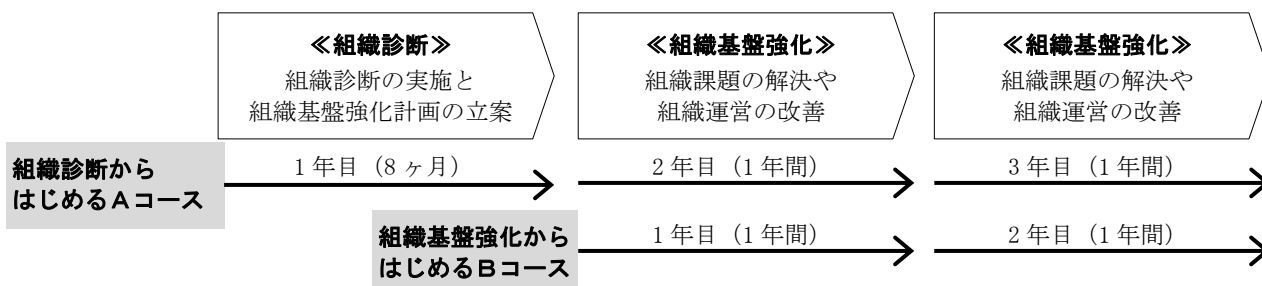
助成の対象となる事業は、第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化とし、次の何れかのコースの取り組みを応援します。どちらか相応しいコースを選んでご応募ください。

◆組織診断からはじめる A コース

助成 1 年目は組織診断に取り組み、組織の優先課題とその解決の方向性を明らかにして、組織基盤強化計画を立案します。助成 2 年目以降は 1 年目に立案した組織基盤強化計画に基づき、具体の組織課題の解決や組織運営の改善に取り組みます。

◆組織基盤強化からはじめる B コース

助成 1 年目の応募の時点で、組織の優先課題とその解決の方向性が明らかとなっており、立案した組織基盤強化計画に基づき、具体の組織課題の解決や組織運営の改善に取り組みます。



※第三者とは、NPO の運営支援について経験を有する NPO 支援組織やネットワーク組織、NPO の組織運営の専門家や実践者等のコンサルタントを言い、応募団体が独自に選定します。

3. 助成事業期間

1 年目の助成事業期間は以下のとおりです。A コースと B コースで助成事業期間は異なります。

助成種別	助成事業期間
A コース (1 年目)	2021 年 1 月 1 日から 8 月 31 日までの 8 ヶ月間
B コース (1 年目)	2021 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間

※A コースは 2 年目と 3 年目に組織基盤強化の取り組みを継続して助成する場合があります。B コースは 2 年目に組織基盤強化の更なる取り組みを継続して助成する場合があります。なお、何れの場合も次年度の応募企画書にもとづき選考を行い、継続助成の可否を判断します。

《国内助成プログラムの流れ》



4. 助成金額とその用途

1件あたりの助成金額は以下のとおりです。助成の対象となる経費は、組織診断または組織基盤強化に必要な経費、コンサルティングに必要な経費、事業の進捗管理に必要な事務局経費が対象となります。

助成種別		助成金額
Aコース	1年目	1件あたりの助成金額は上限 100万円
	2年目・3年目	1件あたりの助成金額は上限 200万円（毎年）
Bコース	1年目・2年目	1件あたりの助成金額は上限 200万円（毎年）

※2020年の新規助成の助成総額は750万円を予定。継続助成とあわせて国内助成の助成総額は1,500万円です。

選考について（国内助成）

1. 選考方法

学識経験者や実務経験者等で構成された選考委員会にて選考を行います。また、選考に先立ち要件確認等の予備審査を行います。選考過程では団体資料の請求や事務局による現地ヒアリングを実施します。

2. 選考基準

(1) 応募する団体が以下の要件を満たしているかどうか（予備審査基準）

- ① 「貧困の解消または貧困と関連のある問題の解消」に取り組んでいるかどうか
- ② 「助成の対象となる団体」の要件を満たしているかどうか

(2) 応募する団体や活動が以下の点で高く評価されるかどうか（選考基準）

- ① 明確なミッションとビジョンを掲げ、社会の変革や新たな価値創造に取り組んでいるかどうか
- ② 寄付やボランティアなど市民の参加が得られ、組織や活動を自立的に運営しているかどうか

(3) 応募事業が以下の点で高く評価されるかどうか（選考基準）

- ① 応募事業に取り組む背景や問題意識、目的が明確かどうか
- ② 応募事業に取り組むタイミングとして適切かどうか
- ③ 応募事業に取り組む目標が明確で、実現方法が適切かどうか
- ④ 応募事業の実施スケジュール・実施体制・実施予算が十分に検討されているかどうか
- ⑤ 応募団体の組織基盤が強化されることで、社会の変革に持続的に取り組み、貧困のない社会づくりへの貢献が期待できるかどうか

3. 選考結果

選考結果は2020年12月中旬に文書にてお知らせいたします。

応募について（国内助成）

1. 応募受付期間

2020年7月16日（木）～7月31日（金）【必着】

2. 応募企画書作成の用紙・手引の入手方法

応募企画書作成の用紙・手引は、パナソニックのウェブサイトからダウンロードしてください。

https://www.panasonic.com/jp/npo_summary.html

※ダウンロードできない場合は、①団体名、②氏名を明記し、「パナソニック 応募用紙 入手希望」とお書き添えの上、7月16日（木）までに、電子メールにて、下記の協働事務局までご連絡ください。

3. 応募企画書の送付

応募企画書（原本3部）を入れた封筒に「パナソニック 応募企画書在中」とお書き添えの上、7月31日（金）【必着】までに、配達記録が残る郵便または宅配便にて、下記の協働事務局宛にお送りください。

4. 応募に関するご相談・お問い合わせ

応募に関するご相談やお問い合わせは電話または電子メールにて下記の協働事務局までご連絡ください。

5. 応募企画書の送付先・お問い合わせ先

特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs 国内助成・協働事務局（担当 坂本・霜田）

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-4-3 日本橋MIビル1階

TEL：03-5623-5055（月曜日～金曜日 10：00～17：00） / FAX：03-5623-5057

E-mail：support-f@civalfund.org

※現在、新型コロナウイルスの感染拡大抑制のため、在宅勤務をさせていただいております。

※ 個人情報の取り扱い・問い合わせ先は次頁をご覧ください。

総合事務局 パナソニック株式会社

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship.html>

パナソニックは、「A Better Life, A Better World」の実現に向けて、事業活動とともに企業市民活動を通じて、社会課題の解決や、より良い暮らしの創造と世界中の人々の幸せ、社会の発展に貢献することを目指しています。私たちは製品・技術開発やモノづくりで培ったノウハウ・リソースを活かし、世界的な問題である貧困などの社会課題にも目を向け、誰もが喜びを分かち合い、生き活きとくらす「共生社会」を目指して、人材育成や機会創出、相互理解をテーマとする企業市民活動をグローバルに展開しています。

国内助成・協働事務局 特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

<http://www.civalfund.org>

市民社会創造ファンドは、個人・企業・団体などから多様な寄付や助成の受け皿となり、個別のNPOが行う特定のテーマ活動に対して助成を行う、専門的なコンサルテーション機能を備えた資金仲介組織です。新しい市民社会の実現に寄与することを理念とし、NPOの資金源を豊かにし、NPOセクターの自立した発展と活性化を図ることを目的に、特定非営利活動法人日本NPOセンターの実績の一部を継承・発展する形で2002年に設立しました。

「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs」 応募に関する個人情報の取り扱いにつきまして

Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGsへの応募の際に頂戴いたしました個人情報(以下「個人情報」といいます)の利用に関する取り扱いを以下のとおりお知らせします。

(1) 取り扱い会社名および事業場名

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部

(2) 個人情報総括責任者もしくはその代理人の氏名又は職名、所属および連絡先

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部 部長

(3) 個人情報の利用目的

応募企画書に記入いただきました個人情報は、次の目的に利用します。

- ① 「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs」の運営や、応募いただいた皆様への連絡(応募受付、選考、選考結果通知、助成手続き 等)に利用します。
ご連絡は、電子メール、お電話、FAX、郵便等で差し上げます。
- ② 応募いただいた皆様へ、パナソニックが主催、共催、協賛、協力する社会貢献プログラムの案内等の情報を電子メール、郵便等で差し上げることがあります。

(4) 個人情報の第三者提供について

取得した個人情報は第三者に提供することはありません。

(5) 個人情報の取扱い委託について

取得した個人情報の取扱いを、「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs」の運営、選考のために必要な業務に限定して、委託することがあります。

(6) 開示対象個人情報の開示等および問い合わせ窓口について

ご本人からの求めにより、当社が保有する開示対象個人情報の利用目的の通知・開示・内容の訂正・追加または削除・利用の停止・消去(「開示等」といいます。)に応じます。開示等に応ずる窓口は、以下の「お問い合わせ先について」をご覧ください。

(7) お問い合わせ先について

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部

〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル 電話 03-3574-5665

上記、[個人情報の取扱いについて]に同意のうえ、「Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs」の応募企画書に必要事項を記載ください。